



株式会社ウェッジホールディングス

証券コード：2388

## 第9期 事業のご報告 (期末)

平成21年10月1日～平成22年9月30日

### Contents

1. トップメッセージ
2. トピックス
3. 事業紹介
4. グループ企業
5. 業績予想
6. 連結財務諸表
7. 会社概要
8. 会社沿革
9. 株式インフォメーション



取締役社長  
**田代宗雄**

### 株主の皆様へ 第10期の開始にあたり

株主の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素は当社の事業につき、一方ならぬご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。

2010年12月、第9期の株主総会を終え、おかげさまで無事に株主の皆様に対してこの一年のご報告をすることが

できました。ちょうど今年は役員就任から3年ということもあり改めて私自身感じるところも多くあります。そのようなことからこの文章にも今回は個人的な感想が入ることをご容赦ください。

2007年9月、私は初めて当社を訪問しました。当時の私は当社に出資をした投資会社のスタッフの立場で、主要株主として今後の経営改善の方針を考えるための情報収集が目的でした。それまでの私自身の経験でも、うまくいっていない事業の改善は何度か経験していましたが、実際にこの会社に来たときには、「これはなかなか大変な会社だ」と感じたのを思い出します。数年利益が出ない会社というのは雰囲気も暗くなるものですが、当時の当社はまさにその状況であり、いくつかの不運も重なって会社の将来には悲観的な声ばかりが聞こえました。グループ各社から意見を集めつつ、私にとってはどうしたらこの会社をよくできるのか毎日深夜まで働き真剣に悩んだ時期でした。実のところ、今後の改善策を提案し始めたころには、外部から来た新参者ながら、実は私が社内の誰よりも会社のことを一

番真剣に考えているなど感じ、それを当時の自分の拠り所にしておりました。

その後、ご縁あって私は現在の任をいただくこととなり、改革を続けて参ることができました。試行錯誤の繰り返しでもありましたが、結果として2008年の黒字転換、2009年の東南アジアへの事業拡張、2010年の最高益更新と、株主の皆様へは前向きな報告ができました幸運を大変ありがたく感じております。

実際、これまで取り組んだ私たちの試みには未熟なものも多く、至らぬ点を補ういくつもの偶然のもとで現在があります。昨今の業績向上の最大要因になった東南アジアでの展開についても、当社の大株主に彼の地の事業基盤があったことから、好況の成長市場での事業機会を得るといふ追い風に恵まれたともいえます。

第10期を迎えました私たちは、実質は若いメンバーが中心となり再スタートを切ったばかりの会社でもあります。11月に開設した日本橋の新事務所では、今日も社員が新しいビジネスや思い入れある作品を形にしようと日々取り組んでいます。東南アジアの投資と成長に隠れがちではありますが、冷え込みが続く国内市場においても、第9期は将来につながる新たな事業が徐々に立ち上がり、私たちの気持ちを強くしてくれました。3年間を経た現在、この会社の将来を真剣に考えるメンバーが、私以外にも多数いると信じられることを、改めて嬉しく感じております。

変化の多い時代、時流が追い風となることもあれば逆風となることもあることでしょう。その際に何ができるかを常に意識して、新たな一年も私たちは行動して参ります。今後とも株主の皆様からの変わらぬ当社へのご支援、ご指導のほどをよろしく御願ひ申し上げます。

## 東南アジアの投資が伸張

### 運用資産の増加

2010年は有価証券を中心に東南アジアへの投資資産が着実に増加しました。2009年9月期末に4.8億円だった運用資産は14.8億円まで拡大。資産の増加によって運用益も拡大して投資育成事業の営業利益は1.2億円、前期比32.6倍になりました。

### 投資案件事例

2010年3月4日、当社はタイの高級リゾート Zeavola Resort の保有会社が発行する転換社債（年利8%）8億円を引受けました。これにより、利子収入確保に加え、今後株式転換によっては同リゾートの約64%の所有も可能となっています。



## ファイナンス事業の躍進

### 活況の東南アジアに成長

2009年7月より子会社化したタイのファイナンス会社 Group Lease PCL の営むオートバイリース事業が東南アジアの景気拡大を背景に契約数を拡大させました。連結によりグループの売上高を大幅に拡大させるとともに、不良債権の減少などから利益率も向上、大きく躍進しました。



## 事業育成 邦楽市場で独自の展開

### スピニング事業部（音楽関連事業）

特定顧客カテゴリーにフォーカスし、CD販売に加えて物販・配信などを組み合わせるビジネスモデルを展開。2008年設立から3期目で単年度営業黒字を達成しております。また、従来の洋楽レーベル事業に加え、新たに邦楽レーベル事業にも進出。初めて原盤制作・マネージメントを行った国内アーティスト「ALDIOUS」をデビューさせ、1stアルバムはオリコンランキング15位（インディーズ1位）のスマッシュヒットとなりました。



←国内アーティスト第一弾「ALDIOUS」

## 電子書籍 配信市場での挑戦

### 電子書籍関連のプロジェクトが収益化へ

2009年より開始した新規事業である書き下ろしコミックの携帯配信事業は、収益事業化が視野に入りました。2008年より開始した出版事業との構成で、配信から開始する新しいビジネスモデルの確立を図っております。また、立ち上がる電子書籍市場に向けた新たなプロジェクトにも積極的に挑戦中です。



### 3. 事業紹介

#### ◆投資育成事業

国内外の優良投資案件への投資活動、その他の短期投資・融資事業

#### ◆コンテンツ事業

カードゲーム事業：トレーディングカードゲームの企画・コンサルティング業務  
出版・編集事業：編集プロダクション業務、書籍の出版  
音楽事業：音楽ソフトの制作・配信・販売・プロモーション業務

#### ◆本部事業

グループ全体における各種事業の開発・育成・経営支援業務

#### ◆ファイナンス事業

タイ国内におけるオートバイのリース業務

#### ◆物販事業

欧米玩具メーカーの輸入代理店業  
フィギュア・トイやアイデア商品の商品企画開発、卸売、小売

### 4. グループ企業

 <p>株式会社ウェッジホールディングス http://www.wedge-hd.com/</p>	事業概要
	企画編集・出版事業 カードゲームの企画・制作及び コンサルティング事業 国内外への投資及び各種事業の 開発・育成・経営支援

 <p>Group Lease Public Company Limited http://www.grouplease.co.th/en/</p>	事業概要
	タイ国内での オートバイリース事業

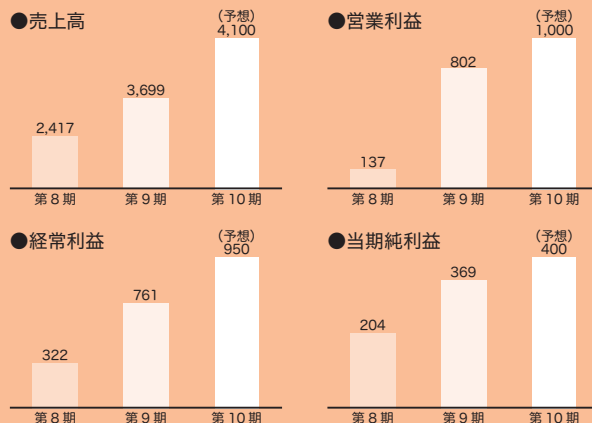
 <p>Engine Holdings Asia Pte.Ltd. http://www.wedge-hd.com/</p>	事業概要
	東南アジアを中心とした 海外成長市場での投資事業

 <p>株式会社 Pepto One Nutrition http://pepto-one.com/</p>	事業概要
	トップアスリートに向けた 高機能サプリメントの販売事業 スポーツ関連イベントの 企画運営事業

### 5. 業績予想

#### 業績ハイライト

単位：百万円



#### 業績総括

当期の当社グループ業績は下記のようにになりました。

売上高	36億99百万円
営業利益	8億2百万円
経常利益	7億61百万円
当期純利益	3億69百万円

当社グループの来期の見通しにつきましては、売上高は41億円、営業利益10億円、経常利益9億50百万円、当期純利益4億円を予定しております。

投資育成事業においては、運用する資産による着実な収益獲得を図りながら、東南アジアを中心として投資リターンが高く期待される案件へ積極的に投資を行い、将来性ある事業の発掘を行う予定です。

ファイナンス事業においては、東南アジア経済の順調な拡大を背景に営業地域の拡大を通じて着実な成長を見込んでおります。

コンテンツ事業においては、トレーディングカードゲーム・編集事業については前年並み、出版事業については電子書籍関連事業へのシフトを通じ一時的な減少を見込むものの、音楽事業においては海外アーティストに加え、国内アーティストの2ライン体制による増収を見込んでおります。

物販事業においても製品ラインアップの拡大及び損益分岐点が低下したことから、今後は増収増益を見込んでおります。

## 6. 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当期 (第9期) 平成22年9月30日現在	前期 (第8期) 平成21年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,396,646	4,138,610
固定資産	5,669,137	3,744,033
有形固定資産	165,551	146,092
無形固定資産	394,735	606,729
投資その他の資産	5,108,850	2,991,211
<b>資産合計</b>	<b>10,065,783</b>	<b>7,882,643</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,756,972	2,561,122
固定負債	1,817,807	1,521,106
<b>負債合計</b>	<b>4,574,780</b>	<b>4,082,228</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,211,638	2,760,784
資本金	1,839,143	1,289,140
資本剰余金	3,020,863	2,470,861
利益剰余金	△ 607,407	△ 970,804
自己株式	△ 40,961	△ 28,413
評価・換算差額等	△ 160,479	△ 191,507
新株予約権	53,925	31,067
少数株主持分	1,385,918	1,200,069
<b>純資産合計</b>	<b>5,491,003</b>	<b>3,800,414</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,065,783</b>	<b>7,882,643</b>

### 連結損益計算書

(単位：千円)

	当期 (第9期) 平成21年10月1日から 平成22年9月30日まで	前期 (第8期) 平成20年10月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	3,699,833	2,417,459
売上原価	1,427,189	1,489,168
売上総利益	2,272,644	928,290
販売費及び一般管理費	1,470,137	790,928
営業利益	802,506	137,362
営業外収益	16,573	206,793
営業外費用	57,635	22,128
経常利益	761,444	322,026
特別利益	202,932	6,819
特別損失	30,157	25,664
税金等調整前当期純利益	934,219	303,182
法人税、住民税及び事業税	308,023	53,633
法人税等調整額	△ 82,493	△ 31,369
少数株主利益	339,164	76,830
<b>当期純利益</b>	<b>369,524</b>	<b>204,089</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

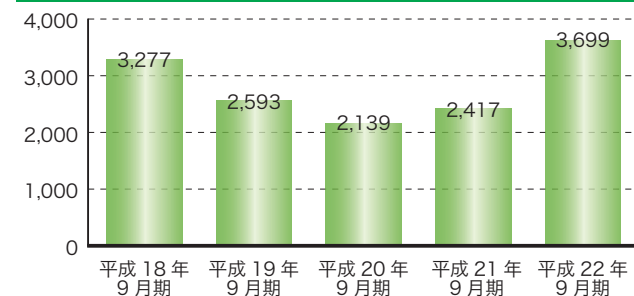
	当期 (第9期) 平成21年10月1日から 平成22年9月30日まで	前期 (第8期) 平成20年10月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 527,788	45,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,468,223	△ 965,604
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,950,294	874,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,115	△ 198
現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△ 46,833	△ 45,088
現金及び現金同等物の期首残高	197,519	237,847
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	4,760
現金及び現金同等物の期末残高	150,685	197,519

### 売上高及び利益の成長

ファイナンス事業の高収益力が牽引し、売上高は前年比1.5倍、営業利益は同4.8倍、経常利益は同1.3倍と、2期連続で増収増益を達成しました。

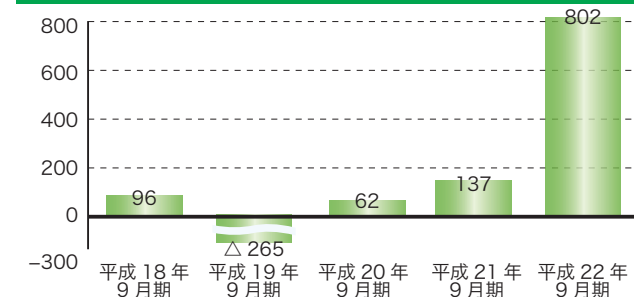
### 売上高

(単位：百万円)



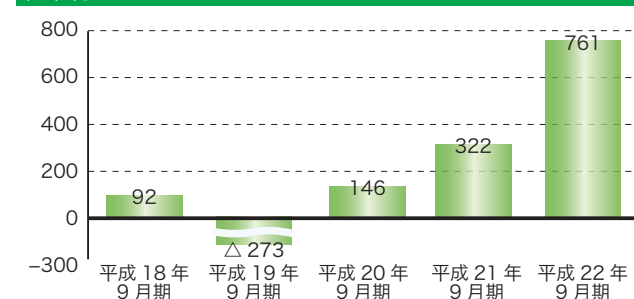
### 営業利益

(単位：百万円)



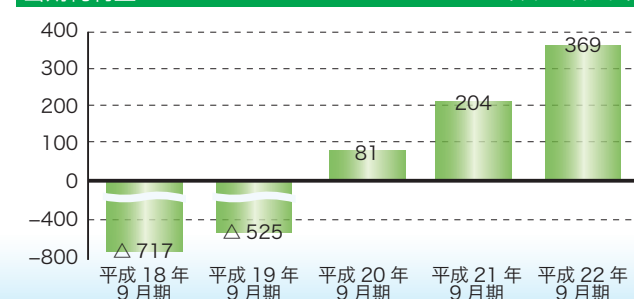
### 経常利益

(単位：百万円)



### 当期純利益

(単位：百万円)



### 資産規模の拡大

投資育成事業の積極的な事業活動の結果として、投資有価証券、長期貸付金、外国株式購入預託金が増加しました。また、ファイナンス事業の事業拡大も長期営業債権の増加となり、総資産の規模は100億円超となりました。

## 7. 会社概要

社 名：株式会社ウェッジホールディングス  
事業内容：コンテンツ・物販・ファイナンス事業の経営・運営  
本社所在地：103-0023  
東京都中央区日本橋本町一丁目9番4号  
Daiwa 日本橋本町ビル 8F  
設立：2001年10月31日  
代表者：田代 宗雄  
資本金：1,839,143,700円  
グループ従業員数：302名（2010年9月末現在）

## 8. 会社沿革

2001年10月	東京都港区において株式会社ブレインナビ（資本金5,000万円）設立
2001年11月	本社を東京都渋谷区に移転 原稿事業、出版事業、その他事業を開始
2003年11月	本社を東京都千代田区に移転
2004年1月	大阪証券取引所へラクレス市場に株式上場
2004年2月	ブレインナビ・コンテンツファンド投資事業組合の設立、投資事業を開始
2004年12月	株式交換により株式会社エンジンを完全子会社化、物販事業領域を拡大
2005年7月	会社分割により株式会社ウェッジホールディングスとして持ち株会社に移行、新たに株式会社ブレインナビを設立
2005年9月	本社を東京都千代田区神田錦町に移転
2007年1月	株式会社ブレインナビを吸収合併
2007年9月	第三者割当増資によりAPFグループの明日香野ホールディングス株式会社が筆頭株主に（増資後資本金769,140,900円）
2008年8月	音楽事業を営む子会社として株式会社スピニング設立
2009年2月	投資事業を営む子会社としてEngine Holdings Asia PTE. 設立
2009年3月	APFグループの投資会社を含む4社を引き受け先として第三者割当増資による資本増強を実施（増資後資本金1,189,140,900円）
2009年7月	Group Lease PCL.（タイ証券取引所一部上場企業）が連結子会社に
2010年3月	APFグループの投資会社を含む2社を引き受け先として第三者割当増資による資本増強を実施（増資後資本金1,839,143,700円）
2010年7月	株式会社エンジン及び株式会社スピニングを吸収合併
2010年10月	株式取得により株式会社Pepto One Nutritionを子会社化、スポーツ事業を拡大
2010年11月	本社を東京都中央区日本橋本町に移転

## 9. 株式インフォメーション

事業年度：毎年10月1日から翌年9月30日まで  
定時株主総会：毎年12月開催  
株主確定基準日：9月30日  
1単元の株式数：単元株制度なし  
証券コード：2388  
株主名簿管理人  
特別口座の管理機関：日本証券代行株式会社  
同連絡先：〒135-0043  
東京都江東区塩浜2-8-18  
日本証券代行株式会社 代理人部  
電話 0120-707-843（フリーダイヤル）